
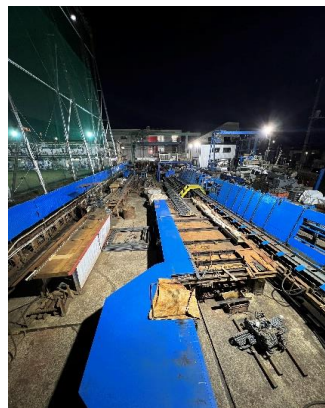
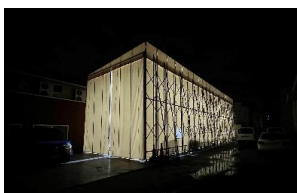


<p>事業名</p>	<p>工場水銀灯のLED化で「脱炭素」「生産性向上」「地域防犯」のトリプル貢献を実現する。</p>	<p>関連するゴール</p>	
<p>取組の概要 (ポイント)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 工場水銀灯をLED化する。 空気中への水銀排出をゼロにし、人類の健康を守る。LED化によるCO2削減で脱炭素社会に向けた取り組みに寄与。照度の低い水銀灯からLED化で生産効率UP。暗さに起因する手戻りの防止。 テント倉庫にLED照明を設置する。 LED化によるCO2削減で脱炭素社会に向けた取り組みに寄与。照度の低い水銀灯からLED化で生産効率UP。暗さに起因する手戻りの防止。 敷地外の歩道を照らすソーラー街路灯を併設する。 ソーラー街路灯が防犯灯の役割を他橋、夜間の歩道を安心安全に通行できるようにし、犯罪の抑止効果を高め、住み続けられるまちづくりに貢献。 事務所屋根に「0円ソーラー」で太陽光パネルを設置する。 「0円ソーラー」で設置する太陽光発電設備により、自社の再エネ比率を高めると共に、災害時や停電時に非常用電源を地域に解放し、携帯電話の充電等で活用してもらう。 		



脱炭素化の第一歩であるLED化の推進を行いつつ、太陽光パネルを設置してその電力を自社だけでなく、災害時に地域でも使えるようにするという視点は、環境やまちづくりに寄与する取組と言える。今後、脱炭素の取り組みをより地域に発信してもらうよう、さらなる努力に期待

総合コーディネーター
麻生智嗣